

直接経口抗凝固薬服用中の心房細動患者さんにおける 消化管出血のリスク評価についての研究のお知らせ

帝京大学医学部附属病院では以下の研究を行います。

本研究は、倫理委員会の審査を受け承認された後に、関連の研究倫理指針に従って実施されるものです。

研究期間：2025 年 11 月 27 日 ～ 2027 年 3 月 31 日

〔研究課題〕

直接経口抗凝固薬服用中の消化管出血の予測スコアの有用性についての検討

〔研究目的〕

近年心房細動で抗凝固療法を受けている患者さんが増加しています。消化管出血は起こる頻度が比較的高い副作用ですが、その予測は難しいのが現状です。本研究は、直接経口抗凝固薬を服用されている患者さんにおける消化管出血のリスクを事前に予測するための有用なスコアを明らかにするためにを行います。

〔研究意義〕

心房細動における抗凝固療法中の消化管出血リスクを事前に評価することによって、その発症を減少させるために役に立つ情報が得られ、適切な治療を行うことができます。

〔対象・研究方法〕

2011 年 4 月 1 日～2018 年 12 月 31 日までに帝京大学医学部附属病院において非弁膜症性心房細動に対して、ダビガトロバン、リバロキサバン、アピキサバンあるいはエドキサバンを処方された患者さんを対象とし、処方から 5 年間の出血や塞栓症の有無を調査します。また慢性腎臓病や抗尿酸血症の有無を調査し関連を調べます。

〔研究機関名〕 帝京大学医学部内科学講座消化管研究室

〔個人情報の取り扱い〕

電子カルテ内の情報の抽出については、帝京大学医学部附属病院の院内規定に従って情報システム部に依頼し、研究責任者の監督の下、研究分担者が直接医療記録より行います。個人が特定され得る記録については情報を加工し、個人が特定できない形としてデータの解析を行います。研究終了後は帝京大学臨床研究センターにて 10 年間保管後、廃棄いたします。

対象となる患者さんで、ご自身の検査結果などの研究への使用をご承諾いただけない場合や、研究についてより詳しい内容をお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。

ご協力よろしくお願い申し上げます。

問 い 合 わ せ 先

研究責任者：氏名 山本貴嗣 職名 教授
研究分担者：氏名 阿部浩一郎 職名 准教授 氏名 小田島慎也 職名 教授
氏名 徳富 遥 職名 非常勤医師
所属： 帝京大学医学部内科学講座
住所： 東京都板橋区加賀 2-11-1 TEL:03-3964-1211（代表）